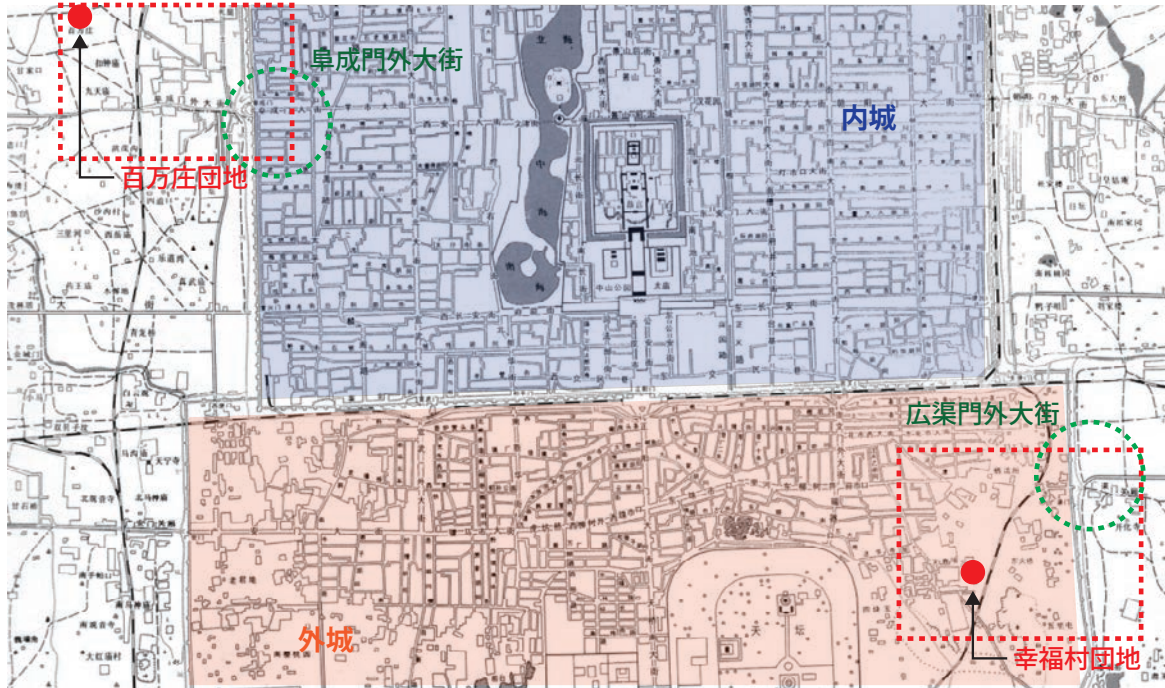


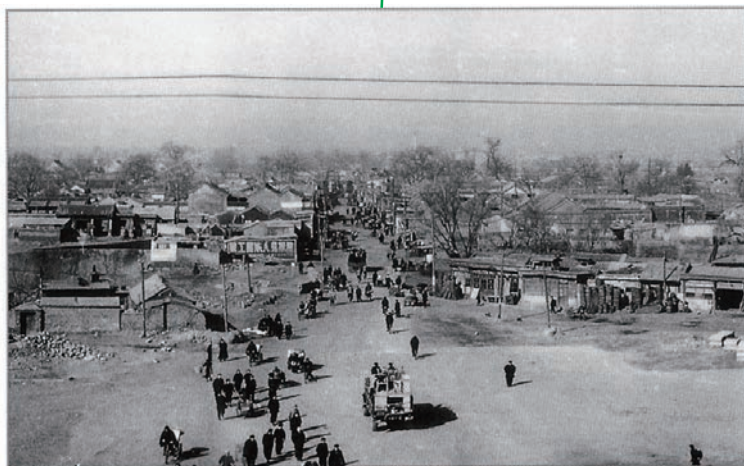
北京における創成期集合住宅・ 団地の建設時の環境

文部科学省 私立大学 戦略的研究基盤形成支援事業
『集合住宅“団地”の再編（再生・更新）手法に関する技術開発研究』

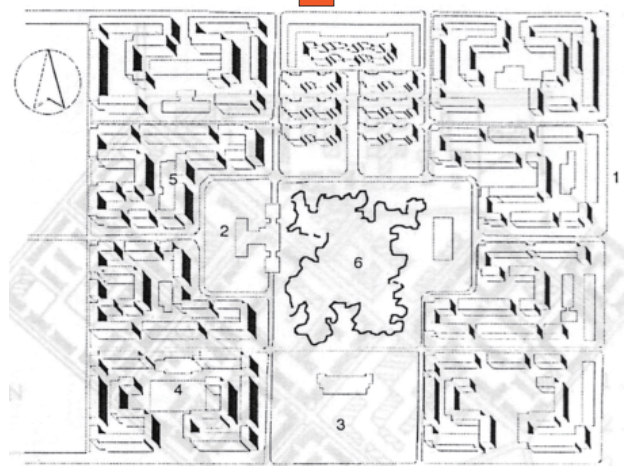
MAY 2012
VOL.057



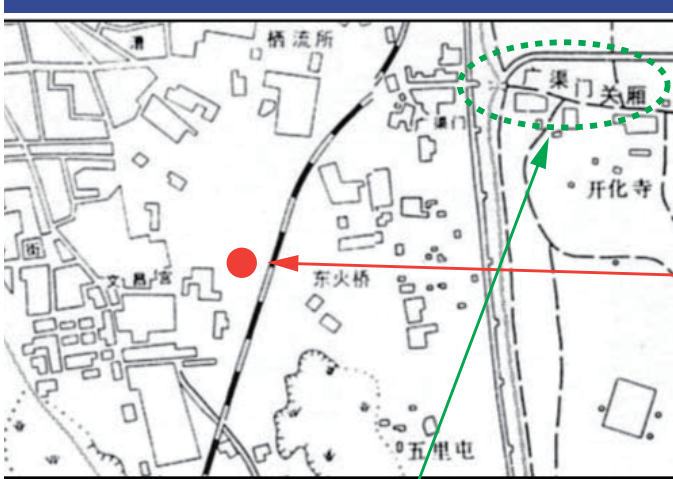
北京市において建設された集合住宅団地について、建設に周囲の環境がどのようなものであったかを、出来るだけ、建設時に近い、地図や写真を用いて考察する。



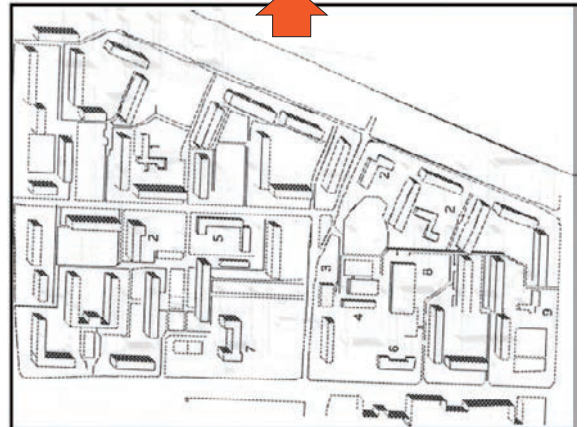
阜成門外大街 1954年撮



百万庄団地



广渠门外大街 1961年撮



幸福村団地

■百万庄団地

1941年の地図で見ると、百万庄の地域は、阜成門外大街の北西に位置し、市街化が進行していない農業地域であると判断される。1954年撮影の阜成門外大街の写真は、大街といえども木造の簡素な建物がほとんどで、片田舎的な景観である。このことから推測して、百万庄界隈は、農村的な色彩の強い地域であったと思われる。

百万庄団地は、1957年に、上級公務員のための住宅として建設された。北側に東公庄大街、南側に百万庄大街が通り、道路整備とあわせて建設されたと考えられる。東側に官庁街が位置し、重要な地区として位置づけられたと思われる。

■幸福村団地

1941年では、この地区は外城内で、鉄道が通っているが、市街化はそれほど進んでいない。北東に位置する広渠門外大街の1961年の写真をみると、工場等が立地する地域の様相を示しており、鉄道に近いことが反映している。

幸福村団地は、1959年、一般住民のために建設された。南側には、1964年に建設された龍檀湖団地があり、それらが連担して大規模な団地エリアが形成されている。立地等から考えて、労働者向け団地と考えられる。

現状の立体化図を見ると、図の左上部に旧集落地区が見える。1941年地図で見られる集落地が存続して

いるものと判断される。

この団地も、大掛かりなインフラ整備とともに、建設されたと考えられる。百万庄団地と考え合わせて、北京の団地建設が都市整備の一環であったことを知ることができる。

■参考資料・注

- ①『北京旧城』北京市城市規劃設計研究院、1996年
- ② <http://map.baidu.com/>
(三錐地図)

注：なお、団地名称は、王継華の修士論文による。

関連リーフレット：004 025

『北京にける創生期集合住宅・団地の建設時の環境』

調査：鳴海 邦碩 (関西大学 客員教授)
 レクチャー：鳴海 邦碩 (")
 執筆：鳴海 邦碩 (")

(調査：2012年3月18日～25日)
 (講演：2012年5月15日)

本リーフレットは、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「集合住宅「団地」の再編(再生・更新)手法に関する技術開発研究(平成23年度～平成27年度)」によって作成された。

発行：2012年5月

関西大学

先端科学技術推進機構 地域再生センター

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号
 先端科学技術推進機構 4F 団地再編プロジェクト室
 Tel : 06-6368-1111 (内線:6720)
 URL : <http://ksdp.jimdo.com/>